



令和4年9月5日  
海上保安庁

## 海外海上保安機関に対する能力向上支援 のため、3年ぶりに本邦研修を実施します ～「救難・環境防災コース」及び「海上犯罪取締りコース」～

海上保安庁は、国際協力の一環として、独立行政法人国際協力機構（JICA）の枠組みの下、海外の海上保安機関の現場指揮官クラスを我が国に招聘し、参加各国の海上における業務執行体制の強化を目的として、JICA 課題別研修「救難・環境防災コース」及び「海上犯罪取締りコース」をそれぞれ実施します。

新型コロナウイルス感染症水際措置の緩和に伴い、これまで実施を見合わせていた本邦への招聘を3年ぶりに実施し、対面とオンラインのハイブリット方式による研修を行う予定です。

### 1 研修概要

#### （1）救難・環境防災コース

昭和57年から実施されており、捜索救助手法、油防除にかかる初動対応、現場指揮など救難・環境防災に関する能力向上支援を通じ、各国海上保安業務（救難・環境防災）の発展に寄与することを目的としており、今回40回目の開催。

#### （2）海上犯罪取締りコース

「アジア海賊対策チャレンジ 2000（平成12年、海賊対策国際会議）」を契機として平成13年度から実施され、海上犯罪にかかる捜査手法など海上犯罪取締りに関する能力向上支援を通じ、各国海上保安業務（海上犯罪取締り）の発展に寄与することを目的としており、今回22回目の開催。

### 2 研修日程・場所

#### （1）救難・環境防災コース

令和4年9月7日（水）～11月5日（土）

海上保安庁本庁、第三管区海上保安本部、羽田航空基地・羽田特殊基地他

#### （2）海上犯罪取締りコース

令和4年9月30日（金）～11月9日（水）

海上保安庁本庁、横浜海上防災基地、第六管区海上保安本部他

### 3 参加国及び研修生

#### (1) 救難・環境防災コース（13か国18名）【調整中】

バングラデシュ1名、フィジー1名、ジャマイカ1名、モルティブ1名、マーシャル1名、モーリシャス2名、モザンビーク1名、フィリピン1名、スリランカ1名、ドーゴ1名、ベトナム1名、インドネシア2名、マレーシア4名

#### (2) 海上犯罪取締りコース（15か国18名）

ジブチ2名、インドネシア2名、ケニア1名、モルティブ1名、マーシャル1名、モーリシャス1名、モザンバーク1名、ナイジェリア1名、パラオ1名、フィリピン1名、ソロモン1名、スリランカ1名、東ティモール1名、マレーシア2名、ベトナム1名

### 4 主な研修内容

#### (1) 救難・環境防災コース

- ・ 捜索救助、海上防災及び環境保全等に関する講義
- ・ 羽田航空基地・羽田特殊救難基地の視察
- ・ 海上防災に関する訓練

#### (2) 海上犯罪取締りコース

- ・ 海賊、密輸・密航等の国際犯罪の取締り等に関する講義
- ・ 国際法に関する講義
- ・ 制圧訓練

### 過去の研修状況



画像1：油防除



画像2：制圧訓練

### ※ JICA 課題別研修

課題別研修は、日本側が研修内容を企画・計画し、開発途上国に提案する研修です。日本が有する知識や経験を通じて途上国が抱える課題解決に資するよう、国内の多くの関係団体と連携しつつ実施しています。病院管理のノウハウ、地方自治制度、また伝統的な農業技術から最先端の科学技術に至るまで、多岐に亘る分野をカバーしています。（引用：JICA ホームページ）

海上保安庁では、海上犯罪取締り、救難・環境防災、海図作成の研修を行っています。